

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2025
令和7年1月29日発行
No.127

やまのべ議会だより
2025年1月号 VOL.127

こんなふうにはずるよー！



定例会 一般会計補正予算の内容は 2～3

一般質問 町政のここはどうする? 4～6

議会活動報告 新しい町への挑戦 7～9

令和6年 議会の活動 主な活動報告 10～11

写真／だがしや楽校
(関連記事 12ページ)

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



第4回定例会

ニット議会開催

～お気に入りのニットで、町をPR～

議員と町幹部職員が町特産のニットを着用し、和やかな雰囲気の中、熱い議論を交わしました。

表紙の説明



山辺地区子ども会育成会主催の「だがしや楽校」が、山辺町中央公民館で12月8日に開催されました。

遊びや食べ物などたくさんの屋台が縁日のように並び、雪がちらつく肌寒い天気でしたが、たくさんの子どもたちの笑顔でにぎわっていました。

輪投げやピンボールなどさまざまな遊びもある中で、折り紙コーナーでは小学生が小さい子に一生懸命教えている姿がありました。小さい子の保護者は、自分が教えてもらったことに熱心に聞いてくれないということ。異なる年齢のかわいらしい縦割り教育を見つめました。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は巳年（2025年は乙巳）ということで、さらなる成長を目指して力をためる時期で、そのために努力の成果を試すときでもあるそうです。皆さまも今まで胸に秘めてきた夢、着々と準備してきたことに思い切ってチャレンジしてみたいものかもしれません。

私も巳年生まれで今年は還暦を迎えます。赤子に戻り、もう一度生まれ変わって出直しの年。新たなチャレンジの年にしたいものです。

渡邊 裕二 記

■発行責任者 議長 神保 稔
■広報常任委員会 委員長 竹俣 一
委員 遠藤 幸
委員 渡邊 真由美
委員 佐藤 二和
委員 鈴木 誠也

議会だよりがカラー写真で閲覧できます。

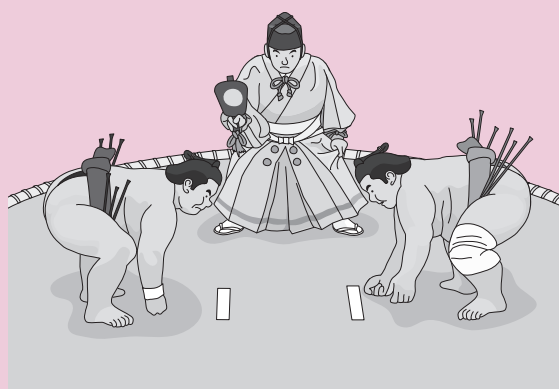


もっと住みよい 暮らしやすい まちをつくるために まちの魅力を発信!

令和6年度 山辺町一般会計補正予算

主な補正内容

- シティプロモーション推進事業
新規 大相撲夏巡業興行委託に…………… **440** 万円
- 総合行政情報システム管理運営事業
個別ツール標準化対応業務に…………… **578** 万円の増
- 児童遊園運営事業
鍛冶町児童遊園の撤去工事などに…………… **200** 万円の増
- 教育・保育給付費事業
新規 保育所等における性被害防止対策にかかる設備等支援に…………… **38** 万円
- 除雪事業
道路除雪業務委託に…………… **5000** 万円の増
- 常備消防活動事業
消防事務委託に…………… **1405** 万円の増



夏巡業が実現するといいなあ



安全確保のための除雪作業

請願第4号

請願名	訪問介護の基本報酬引き上げ等を求める意見書提出の請願		
請願者	山辺町革新懇話会 峯田 博		
趣旨	在宅介護の基盤を存続させるため、訪問介護の基本報酬を引き上げるよう国会、政府および関係機関へ要望するもの		
紹介議員	日野 一春	結 果	採択

令和6年度山辺町一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ1億6004万円を追加し 総額71億3593万円に

議案審議

条例の改正

- 山辺町印鑑条例の一部改正
コンビニエンスストアなどにおける証明書の自動交付サービスの導入に伴い変更するもの。
- 山辺町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
人事院および県人事委員会の勧告に鑑みて所要の措置を講じるもの。

指定管理者の指定

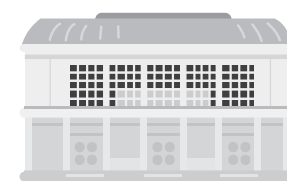
- やまのベコミュニティバス
指定管理者 山辺観光タクシー株式会社
指定の期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日

定例会のあらまし

令和6年第4回定例会が、12月4日から6日までの3日間の日程で開催され、5人の議員が一般質問を行いました。また条例の一部改正、指定管理者の指定、議員発議、ならびに令和6年度一般会計・介護保険特別会計・公共下水道事業会計補正予算を審議し、いずれも全会一致で可決されました。

議員発議

- 山辺町中央公園及び同公園内体育施設等
指定管理者 株式会社パスラボ
指定の期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日
- 訪問介護の基本報酬引き上げ等を求める意見書の提出
訪問介護の基本報酬引き上げなどについて、国会、政府および関係機関へ意見書を提出するもの。



議会用語

議員発議

議員が意見や議論を提出し、審議を求めること。

条例

町の法律ともいえる自主法のこと。地方公共団体は法令に反しない範囲で町の事務に関する条例を制定することができる。条例の制定、改正、廃止には議会の議決が必要。

特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
介護保険特別会計	1127万円の増	17億1442万円

公営企業会計補正予算

会計名	予算増減	総額
公共下水道事業会計	61万円の増	3億7210万円



一般質問

町政のここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

12月の定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 村山 幸一 | 認知症対策 | 共生社会の実現を
認知症対策にどう取り組む |
| 佐藤 利和 | 医療行政 | 町の医療行政とこれからの課題は |
| 三浦 正好 | 人口減少 | 山辺町の人口減少と公共施設は |
| 日野 一春 | 安全管理 | 保育所の運営と安全管理は |
| 鈴木 誠也 | 交通安全 | ①交通安全、交通事故の予防策は
②中央公園の環境整備は |

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



定例会のお知らせ

次回の定例会は3月です。
傍聴については、町ホームページをご覧ください。
電話 023-667-1117（議会事務局）

認知症対策

認知症対策にどう取り組む



村山 幸一（町長）誰一人取り残さない社会をめざしていく

質問 令和6年1月施行された「認知症基本法」を受けて、町はこの法律にどう向き合い、認知症対策を推進していくか。

質問 世界アルツハイマーデーやその月間である9月に、何らかのアクションを。町でも「オレンジライトアップ」に取り組んではどうか。

答弁 認知症対策として、令和4年度から「お買い物リハビリサービス」を開始し、21人が登録している。また認知症の正しい知識や理解を広めるため「認知症サポーター養成講座」を実施。さらに複数の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を配置し、支援体制を構築している。

答弁 毎月1回「認知症カフェ」を実施している。本年9月には、施設見学など行い40人を超える人が参加した。「オレンジライトアップ」は、役場庁舎でできるかどうか検討していく。

質問 地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けする人を増やしていくため、関係団体と協力しながら、対策を推進していく。

質問 身近な地域で、「健康づくり」や「居場所づくり」に積極的に関わっていきけるような施策を講じ、共に支える社会づくりを発信しては。

答弁 町と地域包括支援センターが連携を密にし、担当者間で情報共有を図り対応していく。

質問 「通いの場」は、介護予防・認知症予防につながることから内容を充実させ普及していく。また疾病や障がいを抱えても、住み慣れた地域で、できる限り自立して生活できるよう「地域ケアシステム」の構築をめざしていく。



居場所づくり（近江公民館）
生活支援コーディネータとゲームで楽しむ

医療行政

町の医療行政とこれからの課題



佐藤 利和（町長）県、天童市東村山郡医師会と連携し施策を講ずる

質問 町の医療体制の現状は。

答弁 町内医療機関の閉院により、今までかかっていた近くの医院に行くことが困難になり、不便を感じている声が多くあると認識している。特に、高齢者から多く寄せられている。

質問 現在、歯科医院を含め14の医療機関があり、町民の身近な「かかりつけ医」として、また、町の保健事業や学校保健事業にも協力をいただいている。

質問 これからの医療環境の整備をどのように進めていくのか。

答弁 医師会や近隣医療機関に対して、誘

答弁 本年10月から開始された新型コロナウイルスワクチンや、高齢者インフルエンザ予防接種や、風しん・麻疹など10種類以上ある子ども定期予防接種を実施している。県の医師会と



保健事業の拠点となる町保健福祉センター

広域接種の委託契約を締結しており、子どもインフルエンザ予防接種も含めて、町内外で受けられる状況にある。

質問 町の医療機関とのさらなる情報交換の場が必要ではないか。

答弁 コロナ禍で、開催できなかったが、これからは、定期的に話し合いの場を設けていきたいと考えている。

人口減少

山辺町の人口減少と公共施設は



三浦 正好（町長）人口減少に危機感を持つ

質問 全国の1564市区町村と山辺町が人口減少している中、186市区町村で人口が増加している。今後町は人口減少をどう止めるのか。

答弁 持続可能な「選ばれるまち」となるように、子育て支援の充実、デジタル化による町民サービスの向上、町の魅力発信の強化に引き続き取り組んでいく。

質問 人口減少や自然災害などにより、左沢線の廃線が危惧される。沿線の市町で話し合える体制はあるか。

答弁 JR左沢線対策協議会で、寒河江市を中心に意見交換をし

ている。

質問 人口減少を抑えるため、町の学童保育に関する考えは。

答弁 現状3年生ぐらいまでしかお預かりできていないため、抜本的に変えていく必要があると考えている。

質問 小学校を含め公共施設のほとんどが2027年から生産中止になる蛍光灯だ。LEDに変えないのか。

答弁 多大な予算措置が必要。優先順位などを考慮して実施する。



LEDに交換されていない蛍光灯

質問 消防ポンプ車庫の耐用年数が過ぎているが、どう対応するのか。

答弁 ポンプ車庫は、必要な修繕などにより施設機能の維持を図っていく。

質問 指定避難所の中には洋式トイレがない所があるが、対応は。

答弁 旧作谷沢小・中学校体育館にはないが、災害時は仮設洋式トイレを活用する。

新しい町への挑戦

町の財産をいかし、うるおうまちづくり



議員の資質向上と質疑質問の本質とは

令和6年度町村議会議長会議員研修会

山形県町村議会議長会主催の研修会が山形国際交流プラザにおいて10月25日開催されました。「議会が守るべき政治倫理、ハラスメント防止と議会の取り組み」と題し、弁護士の太田雅幸氏より議員のコンプライアンスについて講演いただきました。政治腐敗につながる行為・各種ハラスメント・不当要求・差別発言・オンライン時代の個人情報保護など、具体例をあげて分かりやすく説明していただきました。



県内町村議員が一堂に会して学ぶ

後半では、「議事機関としての質疑・質問とは」と題し、一般社団法人地方公共団体政策支援機構 上席研究員の長内紳悟氏より講演いただきました。それぞれの自治体が直面する課題や問題点を正しく理解してから、行政に働きかける必要性を説いていました。結果として行政側の対応を明らかにすることにつながるとの内容でした。

よりよい話し合いから、よりよい政策を決める



出典元：一般社団法人地方公共団体政策支援機構の資料より

「部活動地域移行」で地域コミュニティを考える

村山地方町村議会議長会議員合同研修会

村山町村議会の合同研修会が大石田町町民交流センター「虹のプラザ」で、12月23日に開催されました。今回は「中学校部活動地域移行」について、仙台大学体育学部准教授の松井陽子氏より講演いただきました。

はじめに、なぜ国が部活動地域移行を進めるのか、我が国におけるスポーツの歴史について説明がありました。2000年に「スポーツ振興基本計画」を策定。しかし日本独自の「部活動」は、最初に残った種目を変えられないことや、学校対抗による勝利至上主義などの課題を生みしました。一方、諸外国のスポーツクラブは交流の場であり、各自が選択して参加する地域コミュニティの場になっていることから、我が国でもスポーツを通じた地域コミュニティを推進しようとしているとのことでした。教員の働き方改革はまた別な話で「地域移行」も誤解を生むとして「地域展開」に変更するとのこと。

ではいったいどう進めれば良いのか。全国でのスポーツを通じた地域連携事例などから「地域活性化企業人交流プログラム」でのプロの活用や、地域の人的資源の抽出、また学校を地域開放することで大人も部活に参加するなど、スポーツ（文化活動）を地域でできるようにすることが目的ですが、最も重要な「主体性」をどう醸成していくかが一番の課題と感じた研修でした。



「地域移行」から「地域展開」へ

安全管理

保育所の運営と安全管理



一春 日野

（町長）安全安心な保育所運営に努める

質問 今年10月札幌市の認可保育園で1歳男児が死亡する事故があり、死因は離乳食を喉に詰まらせたことと判明。警察は業務上過失致死傷罪を視野に入れて捜査中。このような事故は全国のごく少数で発生している、消費庁によると、6年間で死亡した数は0歳児26人、1歳児18人、2歳児15人。

質問 定員数により預かれない子どもはいるか。

答弁 町立保育所の定員は115名。入所児童数は合計98名で17名定員に満たない状況。原因は児童数の減少。しかし3歳未満児は可能な限りの取り組みを行い受け入れている。保育所全体は定員数を満たしていないが、年齢に応じた保育室の面積などの基準があるため、入所希望者が多い3歳未満児を現状以上受け入れることは困難。

質問 町立保育所の定員は115名。入所児童数は合計98名で17名定員に満たない状況。原因は児童数の減少。しかし3歳未満児は可能な限りの取り組みを行い受け入れている。保育所全体は定員数を満たしていないが、年齢に応じた保育室の面積などの基準があるため、入所希望者が多い3歳未満児を現状以上受け入れることは困難。

質問 町立保育所の定員は115名。入所児童数は合計98名で17名定員に満たない状況。原因は児童数の減少。しかし3歳未満児は可能な限りの取り組みを行い受け入れている。保育所全体は定員数を満たしていないが、年齢に応じた保育室の面積などの基準があるため、入所希望者が多い3歳未満児を現状以上受け入れることは困難。



町立安達峰一郎記念保育所

質問 将来の人口統計の推定値を見ると大変懸念される状況だが、今後の保育士確保を踏まえた保育所の運営方針は。

答弁 当町は3歳未満児の入所希望者が増加している。保育士数は充足しているものの、今後も安定した確保を図り、安全安心な保育所運営に努める。児童数は減少しているが、保育ニーズは増加している。可能な範囲で受け入れを行う。

交通安全

交通安全、交通事故の予防策は



誠也 鈴木

（町長）交通事故撲滅を目指し関係機関と連携、協調を図る

質問 山辺町の交通事故発生状況は、令和6年1月1日から10月31日まで、人身事故17件、負傷者18人、物損事故148件。死亡事故が発生した大門地区丁字路に街灯がなく、夕方から夜にかけて歩行者の通行が大変危険なため、丁字路に街灯を設置してはどうか。

質問 交通事故防止に高齢者や小中学生に反射材の配布をしては。

答弁 町内全域に危険な交差点も存在するため、安全対策の優先順位、交通量、歩行者数を見極めて対応していく。

質問 令和4年、令和5年と事故多発の田小路十字路の路面標識、看板の点検整備は。

答弁 高齢者には「いきいき教室」で反射材を配布。交通安全母の会の活動として、反射材付きランドセルカバの配布、やまのべの里スポーツクラブへの反射材を配布している。



街灯のない危険な大門地区丁字路

質問 ポプラ伐採時に剪定された枝木は、廻りの樹木にも影響があるのか。

答弁 指定管理者と協議しながら、中央公園全体の利活用を改めて検討する必要があると認識している。

憩いの場所にしてはどうか。

答弁 指定管理者と協議しながら、中央公園全体の利活用を改めて検討する必要があると認識している。

質問 指定管理者と協議しながら、中央公園全体の利活用を改めて検討する必要があると認識している。

答弁 指定管理者と協議しながら、中央公園全体の利活用を改めて検討する必要があると認識している。



山辺町の明るい未来につなげるために 出来ることを

商工会役員懇談会

商工会役員の方々と議員全員との懇談会が商工会館にて12月9日に開催され、新会長に就任された渡辺博明氏（オリエンタルカーペット(株)社長）と新たな役員の方々との本音での話し合いが行われました。

これからは、視察などを共に行うこともいいのではなどと新たな意見も出され、より有意義な会となりました。

今後も、商工業の発展と山辺町の明るい未来につなげていくために、議会としても尽力していきます。



新会長のもと、さらなる商工業の発展を目指す

あたたかい交流のひとつきを

児童クラブ「感謝の会」

学童保育事業を行っているゆりかご児童クラブの「感謝の会」が、旧大寺小学校で11月22日に開催され、議員全員で参加しました。山辺小・相模小に就学している子どもたちを対象に、放課後に必要な学びの場を提供して、健全育成を図る事を目的として運営されています。集団の中でのいろんな経験をすることで、貴重な体験の場になっていることをあらためて実感しました。我々議員も子どもたちと先生方が作ったカレーライスをいただき、先生方と保護者の皆さんとのあたたかい交流のひとつきを体験することができました。



お父さんお母さんへ日頃の感謝をこめて

桜がつなぐ日立市とのさらなる交流

日立紅寒桜植樹式

山辺町・日立市友好都市提携20周年を記念して、『日立紅寒桜』の苗木を日立市より寄贈いただきました。その植樹式が12月19日に山辺町役場東側駐車場にて開催され、私たち議員も出席しました。安達町長と神保議長、山辺町日立市交流協会 村山賢司、中野 徹 両副会長による土入れのあとにみんなで記念撮影。日立紅寒桜は極早咲きで、1月中旬に開花し、3月上旬ごろに見頃を迎え、長い期間人々の目を楽しませるそうです。美しく咲き誇る姿を楽しみにしております。



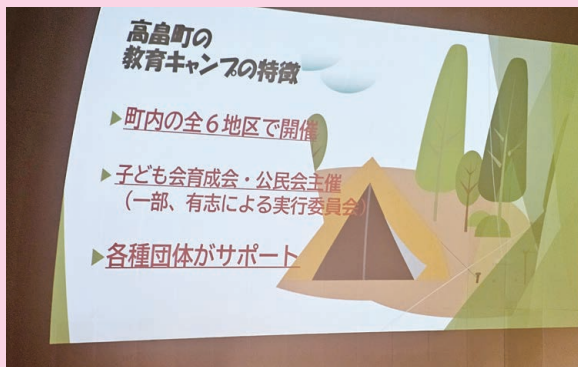
元気に育て、日立・山辺のきずな

未来をひらき、地域をつくる

社会教育の在り方 社会教育研究大会

山形県社会教育研究大会が河北町サハトベに花で10月18日に開催され、社会教育委員である佐藤・鈴木両議員が参加しました。

はじめに「難病を克服して元気を発信」と題し、タレントのミッチーチェン氏が記念講演を行い、その後分科会が開かれました。参加した第4分科会では高畠町より教育キャンプの取組みについて活動報告があり、社会の変化に対応する地域の人材を育成するための仕組みを学びました。



～つなぐいのち・学び・地域～

ともに学び、課題解決を探る～現地視察～

朝日町・山辺町両町議会議員協議会

朝日町と山辺町の議員協議会が10月16日に開催され、2か所の現地視察や共通課題である有害鳥獣被害対策、空き家対策など意見交換しました。

現地視察は、初めに朝日町と隣接する場所にある「山形ピッグファーム松山農場」を見学。豚の飼育状況や豚舎の衛生管理対策など、阿部社長から説明を受け、徹底した感染対策や衛生管理体制を行っていることに両町議員は深い感銘を受けました。

次に同地区内の「村山コンポストリサイクルセンター山辺営業所」を見学。この施設では産業廃棄物を肥料に再生するなど有効に活用していること。また管理型最終処分場を増設する計画であることなどを聞き、初めて見る議員は、その広大な土地に驚きを見せていました。

その後、山辺町役場を会場に、両町の共通課題である、有害鳥獣被害の現状と対策、また空き家対策などの情報交換を行いました。朝日町の議員から、イノシシの捕獲が増加し、対応に苦慮して

いることなど切実な声が聞かれました。

また空き家対策では、除去支援補助の充実や空き家バンクの有効活用など多岐にわたり意見交換しました。隣接する両町、ともに課題解決に向け取り組んでいこうと意思統一し、両町議会の交流もさらに深まりました。



豚舎の衛生管理状況を聞く

住民の命を守る消防施設を視察

中山町・山辺町両町議会議員協議会

中山町と山辺町との協議会が12月13日に開催され、両町が事務委託をしている消防事務全般について視察研修を行い、山形市消防本部の役割について説明を受けました。

老朽化や機能強化のための施設整備などもあり、消防事務委託料は年々増加していますが、整備計画を基に有利な起債や国・県などの補助金を活用し、極力消防に係る一般需用費の縮減を図っていくとのことでした。また老朽化により現在移転・建て替え中の蔵王温泉出張所については、ヘリポートや山岳事故対応訓練場などを備え、令和7年11月に開所予定。

消防指令センターでは、119番緊急通報受信体制について説明を受け、視察中にも救急要請が入り、直ちにモニターに地図が出る様子も確認できました。また、東消防署にて救急車に搭載の「救急医療情報共有システム」を見学。救急隊と医療機関で専用タブレット端末を介し、傷病者の免許証やマイナンバーカードなどを読み取り、記載情報や画像情報の円滑な情報共有により、医療機関

への速やかな搬送につなげるシステムで、東北で初めて運用を開始しているそうです。

その後は西消防署へ移動し、防災センターで地震・煙体験や、両町への出動体制、出動件数などについて詳しく説明を受けました。

私たちの命を守るために、災害などに係る消防体制の強化や救急車の到着時間と病院までの搬送時間をいかに短縮するかなどさまざまな努力をされていて、両町ともに安心を確認できた有意義な研修となりました。



救急隊と医療機関の連携について説明を受ける

令和6年 議会の活動

定例会

年に4回開催され、令和6年は会期が30日間、うち本会議が10日、決算・予算の特別委員会が8日。

臨時会

定例会以外に臨時で開催される議会。令和6年は2回開催。

議会運営委員会

議会の会期や進め方など議会運営に関する事項を協議する委員会。所属議員は6名。開催数10回。

総務文教常任委員会

総務課、防災対策課、政策推進課、美力発信課、税務課、会計課、教育委員会教育課、議会事務局から報告された案件を審査する委員会。所属議員は6名。開催数11回。



委員会の審査風景

厚生産業常任委員会

町民生活課、保健福祉課、産業課、農業委員会、建設課から報告された案件を審査する委員会。所属議員は6名。現場視察も含め7回開催。



中山間地域への現場視察

広報常任委員会

議会だよりの発行をメインに、町内外に向けた広報広聴活動を行う委員会。所属議員は6名。『未来を話す会』も含め18回開催。



議会だより編集作業

全員協議会

全議員に執行部から町政運営について説明を受けたり、意見を述べたりする協議会。開催数10回。

研修会

議員の資質向上を図るため、県内外で開催される研修会へ出席。出席数8回。



中山町・山辺町両町議会議員協議会研修会

監査の執行

毎月、予算執行や伝票内容の検査を実施。また決算の審査や定例監査をそれぞれ年1回実施。議員選出の監査委員は1名。研修会も含め18回開催。



現場に赴いての定例監査

行政視察

まちづくりに役立てるため、県内外の市町村を訪問し、事例研究を行い、知識を深める。出席数1回。



友好都市日立市へ行政視察

各団体や地域との交流

一部事務組合などへの派遣議員活動として、3つの団体で年10回。町の行事、各地域・団体の式典や総会などへも多数出席しております。



ふるさと資料館創立30周年へ参列